

今までの経験体験を生かして、これからの充実した生活をお探しの皆さんへ

# きっとここが、帰る場所。

やっと自由な時間を持てるようになった。  
でも、今更スナイプや470は無理。

海が好き。もう一度ヨットに乗りたい！  
友達のクルーザーに便乗するだけじゃ。

忘れかけていた思い出をたぐりよせて、  
明日へのモチベーションを上げてみませんか。  
A級ディンギーの世界が待ってます。



久しぶりのティラーとメインシートの感触。



ディンギーならではの海面スレスレのスリリングな走り。



時には沈も。



秒読み、スタート！タック、ジャイブ、・・・フィニッシュ！



大好きな海で、生涯の友を得ることができる。



レースでは真顔になれる。



日本A級ディンギー協会



今年5月14日－16日に西宮行われる  
全日本A級ディンギー選手権と一緒に  
こんなシーンを作りませんか。

A級ディンギーは1912年英国人Cockshottが設計し、製造権を導入して1932年より国内建造が始まった。1920年アントワープおよび1928年アムステルダム のオリンピックのレース艇として採用された。1973年インカレで470級が採用され、でもA級ディンギーの活躍は1991年より30回にわたり全日本A級ディンギー選手権で続いている。

# A級ディンギーという選択肢

- 1 久しぶりのティラーとメインシートの感覚。
- 2 ディンギーならではの海面スレスレのスリリングな走り。
- 3 秒読み、スタート！ タック、ジャイブ、ジャイブ・・・フィニッシュ！
- 4 時には沈も。



# A級ディンギーという選択肢

5 艇体の波切音。

6 ディンギーならではの海面スレスレのスリリングな走り。

7 レースでは真顔になれる。

8 仲間とは笑顔になれる。



# A級ディングーという選択肢

9 毎年各地で開催される全日本選手権。  
本格的なレースだから面白いし、のめり込める。

10 練習するから宴がある。

11 いま、こんなことが経験できるのはA級だけかもしれません。



# A級ディングーという選択肢

12 スピードが速くないのは、良い事も多い、  
タクティクスを駆使できる。

13 壮年からでも入門可能。

14 艀装がよくわからない。



# A級ディングーという選択肢

15 対等な関係で先輩後輩の区別なし。

16 乗り方もよくわからない。自分の積み上げた経験や体で覚えているものが通用しないのでは？



# A級ディングーという選択肢

17 扱いにくい艇種を乗りこなす征服欲。(じゃじゃ馬ならしみたいなものです)

18 伝説のOBたちとガチンコレース。

スキッパーは女性です  
お間違えなく。。





# A級ディングーという選択肢

19 シングルハンドもいい。。

20 エジプトで見た古代ヨットの様な悠久の時間を超えて、人類が  
大海原に漕ぎ出した様な勇気とロマンを感じる。

21 原始的であればあるほど、本質に近い学びが出来ます。





© Studio Borlenghi

See you soon.

ちなみにオランダとイタリアではそれぞれ200艇の保有があり毎年盛んにレースが行われています。イタリアの12FeetDinghyのサイトより